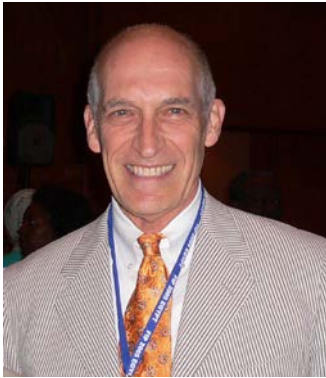


2016 薬剤学講座 特別講演会

共催 薬学部国際交流委員会 第10回国際交流セミナー



演者：レスリー・ベネット教授 Leslie Z. Benet, Ph.D.,
慶應義塾大学海外副指導教授(平成 27 年度スーパー
グローバル大学創成支援事業)

Professor, Department of Biopharmaceutical Sciences, UCSF

演題名：生物薬剤学の 45 年：Forty-five Years of
Biopharmaceutical Sciences and Its Impact on the Profession

of Pharmacy and Drug Development

日時：平成 28 年 3 月 19 日 (土) 14 : 00 ~ 15 : 00

場所：1 号館マルチメディア講堂

座長：Patrick J. Foster 准教授(薬学部基礎教育)

慶應義塾大学海外副指導教授である Leslie Z. Benet 教授は、薬物動態学の祖であり、グローバルリーダーです。カリフォルニア大学サンフランシスコ校 (UCSF) で、現役教授として活躍されています。その原著論文は 540 報を超え、これらの論文の被引用件数は、薬理学分野で計 20,000 回を超え、薬学分野では計 45,000 回を超えています。論文の中には、100 回を超えて引用されているものが 50 報以上あり、1,000 回以上超えるものもあります。また、数々の賞を世界各国で受賞され、まさに薬学界の巨人です。生物薬剤学は薬学出身者の基幹となる学問のひとつであり、これをリードされてきた 45 年を御講演いただきます。大学院生・塾生の聴講を歓迎いたします。

連絡先：薬剤学講座 登美斉俊